

12 日本国憲法 (1)

ホップ ステップ ジャンプ
学習日 月 日

5/7 次()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

1) 国民は()になると、選挙で投票することで政治に参加する権利が保障されています。これを()といいます。



また、決められた年齢になると選挙に立候補することができる()も保障されています。選挙は、国民一人ひとりの意見を政治に反映させる大切なしくみです。

20 被選挙権 選挙権

2) 日本国憲法はすべての()のもとになるものです。この憲法には3つの原則があります。



1つめは国の政治の方向を決めるのは国民であるという()主権です。()は自分たちの代表者である国会議員などを選挙することで、国民が政治に参加していることを表しています。また、国民自ら重要なことを決定する権利も認めており、その1つの方法が()です。このような政治のしくみを()といいます。そのほかにも都道府県や市町村の首長や()を選挙したり、条例の制定を請求する権利もあります。

国民投票 法律 国民 議員 民主主義



3) 原則の2つめは()の尊重です。これは、すべての国民が生まれながらにして自由で()であり、人間らしく()権利をもっているということです。憲法ではこれを犯すことのできない永久の権利として国民に保障しています。また、憲法では国民に対して子どもに()を受けさせる義務、()義務、税金を納める義務の3つの義務も定めています。

生きる 教育 働く 平等 基本的人権

4) 原則の3つめは()です。日本は第2次世界大戦で、()の人たちに多大な苦しみにあたえました。また、自らも悲惨な体験をしました。その反省にもとづき、争いを解決する手段として、2度と()をしないこと、陸・海・空軍などの()をもたないことを宣言しました。

また、戦争や原爆の悲劇をくり返さないために「核兵器をもたない、()、もちこませない」という()を宣言し、世界にうたえています。日本はこの憲法のもと、戦争や紛争に関わることなく平和な国家を築きました。

つくらない 平和主義 戦争 戦力 アジア 非核三原則

12 日本国憲法 (2)

ホップ ステップ ジャンプ
学習日 月 日

1) 日本の政治のしくみについて、あとの問いに答えましょう。

日本の政治は国民が()で選んだ代表者によって行われます。国民はこれによって()に参加することになり、このしくみを()といいます。すべての国民は、ア一定の年齢になるとイ①を行う権利をもちます。また、ウ代表になるために立候補する権利ももっています。

(1) ()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

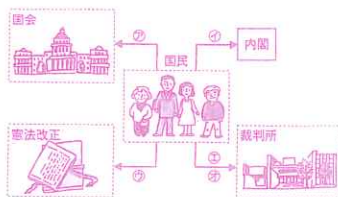
選挙 民主主義 政治

(2) ア、イ、ウがさしめす言葉を□から選んでかきましょう。

ア □ イ □ ウ □

被選挙権 選挙権 20才

2) 国民主権について、㉗~㉙にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。



㉗ □ ㉘ □ ㉙ □

裁判員制度 国民投票 選挙 国民審査 世論

3) 基本的人権の尊重について、()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。



生存 生命・身体 男女 信教 学問 働く

4) 平和主義について、()にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

日本の憲法では、国と国との争いを解決する手段として、()はぜったいに認めない。そのために、陸海空軍その他の()はもたない。

- ㉗、㉙にあてはまる言葉をかきましょう。
- 上の文は憲法の何条の内容ですか。 ()
- 戦争と原爆の悲劇をくり返さないために「核兵器をもたない、つくらない、もちこませない」ことを定めました。これを何といひますか。 ()

9条 戦争 戦力 非核三原則

12 三権分立 (1)

ホップ ステップ ジャンプ
学習日 月 日

① 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

(1) 国の政治は(①)を中心に(②)、(③)が分担をして進めます。この3つの機関の1つのところに(④)が集中しないようにしています。それを(⑤)といいます。

裁判所 国会 三権分立 権力 内閣

(2) 政治は主権者である(①)が主人公なので、国会には(②)を通じて、国会議員を選びます。内閣には、(③)を通して願いを伝えていきます。さらに、裁判所に対しても、裁判官が適正か(④)をする権利をもっています。

選挙 国民 審査 世論

② 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

国会の主な仕事は、国の(①)をつくることです。これを(②)といいます。また、国の(③)を決めることも大事な仕事です。

国会には(④)と(⑤)の2つの議院があります。それぞれで国の政治の方向性について話し合いが行われ、多数決で決められます。

衆議院 参議院 立法 法律 予算

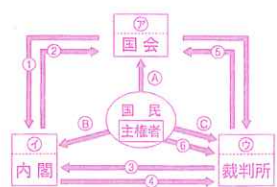
12 三権分立 (2)

ホップ ステップ ジャンプ
学習日 月 日

① 三権分立について、あとの問いに答えましよう。

(1) 図の①~⑦は司法、行政、立法のどれにあたりましよう。

①	
②	
③	



(2) 図のA~Cにあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

A □ □ □ B □ □ □ C □ □ □

世論 国民審査 選挙

(3) 次の①~⑥は図の矢印について説明しています。□にあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

- ① □ を指名する。
- ② □ を解散する。
- ③ 政治が □ 違反でないか審査する。
- ④ □ の長官を指名する。
- ⑤ □ が憲法違反でないか審査する。
- ⑥ □ によって国民も裁判に参加するようになった。

憲法 最高裁判所 内閣総理大臣 裁判員制度 法律 衆議院

③ 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

(1) 内閣の主な仕事は、国会が決めた(①)や(②)をもとに実際に政治を行うことです。これを(③)といいます。また、外国との(④)を結んだり、裁判官を任命するのの仕事です。

行政 法律 条約 予算

(2) 国の行政機関である内閣には、それぞれの仕事をする(①)や庁が置かれています。内閣の最高責任者は(②)で(③)で指名されます。(②)は各省や庁などの長である(④)を任命して内閣をつくりましよう。

内閣総理大臣 国会 省 国務大臣

④ 次の()にあてはまる言葉を□から選んでかきましよう。

裁判所の主な仕事は、争いごとや犯罪があったとき(①)や(②)にもとづいて罪のあるなしを決めることです。これを(③)といいます。また、国会が決めた法律や(④)が行う政治が憲法に違反していないかを判断することも重要な仕事です。

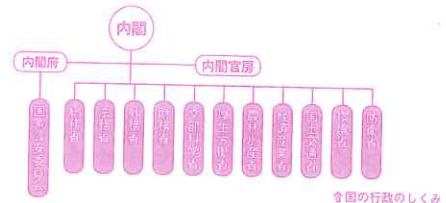
裁判の判決になっとくできないときは、さらに上級の(⑤)にうたえることができます。これは、より正しく裁判を行うことで、国民の(⑥)を守るためです。

憲法 法律 司法 内閣 権利 裁判所

② 次の仕事は国会、内閣、裁判所のどこが担当ましよう。()に国、内、裁とかきましよう。

- ① () 国の行政機関で、実際に法律にもとづいて政治を行う。
- ② () 法律や予算を決める。
- ③ () 国民の選挙によって選ばれる。
- ④ () 争いごとや犯罪について、罪のあるなしを決める。
- ⑤ () 内閣総理大臣と各省庁の国務大臣によって構成される。
- ⑥ () 法律が憲法に違反していないか審査する。
- ⑦ () 衆議院と参議院の二院制になっている。

③ 次の①~⑦は内閣の各省庁の仕事についてかいてあります。それぞれ、どの省の仕事かかきましよう。



- ① 国の財政(お金)の仕事をする。 ()
- ② 外交や国際関係の仕事をする。 ()
- ③ 教育や芸術、科学技術やスポーツの仕事をする。 ()
- ④ 国民の健康や仕事に関する仕事をする。 ()
- ⑤ 環境保護やエコに関する仕事をする。 ()
- ⑥ 農業や水産業に関する仕事をする。 ()
- ⑦ 道路や鉄道、港などの仕事をする。 ()